

一人で悩まず相談しよう！

校長 松本 雅史

大型連休は、みなさんどのように過ごしましたか。始業式、入学式から1か月が過ぎました。お友達の輪は広がりましたか。今朝は、「一人で悩まずに相談しよう」ということについてお話しします。学校では、楽しいことや嬉しいこともたくさんあると思いますが、ときにはけんかをしてしまったり、意地悪をしたり、されたりして嫌な思いをしてしまうこともあると思います。失敗をして自信をなくしたり、人から責められてつらい気持ちになったりすることもあるでしょう。

そんなときに、一人で悩まずに、ぜひ周りの先生に相談してください。みんなは、相談したって何が変わるわけではないし、意味ないよと思っ
ていませんか。先生は、子どもの頃、相談なんて意味ないと思っていました。嫌なことがあっても、自分が我慢すればいいんだと思っていました。でも、そうではありませんでした。つらいときに、「つらい」と言えること、嫌だと思ったときに、「嫌だ」と言えること、苦しいときに、「助けて」と言えることは、とっても大事なことです。相談して話を聞いてもらうだけで、気持ちが楽になるということは、本当にあるのです。楽になると元気が出ます。今の自分に「いいんだよ」と言ってあげられます。

もし、本当に相談できる人が自分にはいないよという人は、今日配るお手紙のところに電話をしてみてください。

「あいうえお」の「い」は、「いじめなし」でした。「友達のいやなことはしない」これを一人一人が心に刻んで、誰もが安心して学べる学校をつくっていきましょう。嫌なことや悩みごとは、すぐに先生に相談しましょう。校長先生もいつでもお話を聞きますよ。

さて、今日から新型コロナウイルス感染症の扱いが5類になりました。これまでもお話ししてきましたがマスクの着用は、個人の判断で行います。マスクを着けることや着けないことについて、差別したり、責めたりすることはしてはいけません。ただし、これから暑くなります。体育や外遊びの時は、これまで通りマスクを外します。これは、熱中症の危険から皆さんの命を守る大切なことです。各学級でも改めてご指導をお願いします。

5月は、1年でもとても爽やかな季節です。今週も元気に学び、友だちの輪をさらに広げていきましょう。